

与論町海洋教育プログラム(提案書)

実施者: 誇れるふるさとネットワーク / 池田 龍介

連絡先: 090-4347-5626 / yunnu1127@gmail.com

テーマ	<input type="checkbox"/> 海に親しむ	<input type="checkbox"/> 海を知る	<input checked="" type="checkbox"/> 海を守る	<input checked="" type="checkbox"/> 海を利用する
学習のねらい	海ごみから考える「SDGsとソーシャルアクション」 ※法政大学ゲスト講義の短縮版 与論島の「拾い箱」や全国各地の事例と、SDGs14、SDGs12・13との関係性を学ぶ。(継続的に実施できる場合、)それらを改善するための対策・行動を考える場を設け、国際的な環境問題に対して、足元の暮らしや地域から行動を起こす人材育成を図る。			
身に付けたい資質・能力	<input type="checkbox"/> 情報収集・判断 <input type="checkbox"/> 感動	<input type="checkbox"/> 対話 <input type="checkbox"/> 関係	<input type="checkbox"/> 問題解決 <input type="checkbox"/> 主体	<input type="checkbox"/> 持続的利用 <input type="checkbox"/> 継続
実施について	対象: 中学・高校生	時期: 通年で可	場所: 教室内	時間: 45～60分
内容	<ul style="list-style-type: none"> ●担任の先生の挨拶、今日の流れの説明(5分) ●座学(20～25分) ※パワーポイント(画像)を活用 <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsについて ・海ごみ・マイクロプラスチックとSDGs14、SDGs12・13との関係 ・自分と社会の関わり、日本やドイツの事例について ・与論島の「拾い箱」について ※参考動画 → https://youtu.be/ZbucrkrM92U ゴミ箱(ごみを捨てるための箱)ではなく、「ごみを拾うための箱」。 イベントのように時間や場所を指定することなく、「いつでも気軽に砂浜をきれいにする」そうした習慣・地域づくりのための取り組みとして普及・啓発を行っています。			
備品	実施者: USB(パワーポイントデータ)、(必要に応じて、グループワーク用紙) 教室: PC、モニター 生徒: 筆記用具			
その他	日本国内の事例については、実施者が所属している日本環境NPOネットワーク(全国各地で環境活動を行っている会員約80名)での事例などを紹介。「環境先進国」ドイツの事例については、実施者が現地研修で学んだ事例を紹介。 ※事後、生徒自身がソーシャルアクションを企画する際は、継続的にご協力させていただければ幸いです。			